

本取り組みは、愛知県新城市において実施された高速道路事業で、2016年に開通しました。

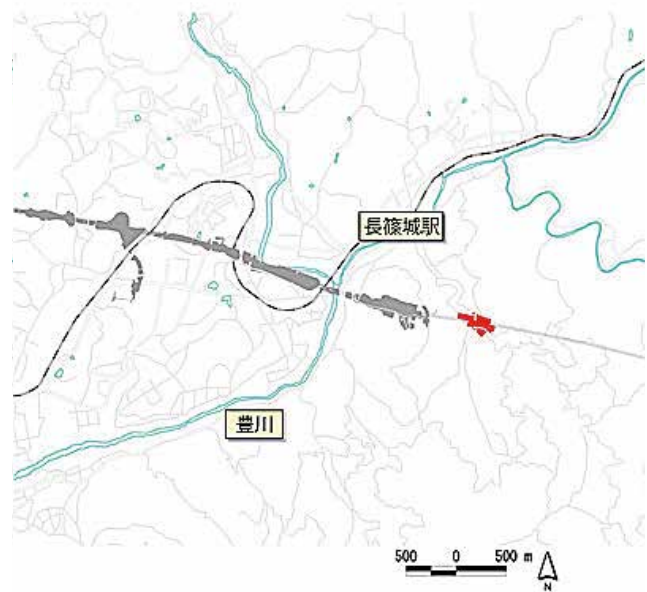
栗衣（くりぎぬ）地区が含まれる豊川工事事務所管内は、三河山地や八名山地、豊川沿岸の洪積台地・沖積平野などに囲まれた約30kmの区間です。栗衣地区は自然豊かな「桜淵県立自然公園」の中に位置していることから、中日本高速道路株式会社では、計画の初期段階からさまざまな環境対策に取り組んできました。

地域性苗木の活用

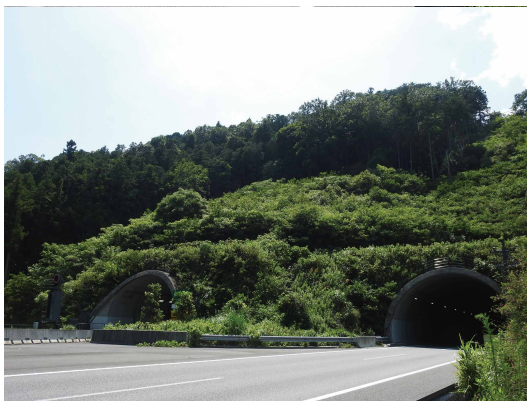
地域に自生する植物の種子を採取・育成し、現地に植える、「地域性苗木」の活用を力を入れています。他の地域の植物との交雑を抑え、地域本来の植物の遺伝子を守る効果が期待されます。

維持保全割合によるランクアップ

評価区域全体の50%以上において元の地形と表土が保全されるため、1段階のランクアップが適応されます。



評価対象事業の位置



栗衣地区の全景



地域性苗木が植栽された区画